

理事長挨拶

はじめに、総会の開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止、並びに会員皆様の安全を最優先とさせていただき、書面開催とすることにいたしました。御理解をお願い申し上げます。

昨年の令和2年7月豪雨では、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生し、県内でも下伊那地域を中心に大きな被害に見舞われました。犠牲になられた皆様に、ご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

本協会では、集中豪雨に遭われた下伊那地域で、台風シーズンを迎えるにあたり砂防堰堤の堆積状況等を点検し、台風による豪雨の際の警戒避難に資することを目的として19箇所の砂防堰堤の緊急点検を実施しました。出動いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

令和元年NP0法人となり、県からの委託を受け「赤牛先生」防災教育に、重点的に取り組み3年目となりました。昨年6月12日の長野市での開催を皮切りに令和2年度防災教育講座を当初65回の開催予定で始めましたが、10月頃より長野県下でも新型コロナ感染者数の増加が顕著となり、こうしたコロナ禍の状況下で、講座の中止や開催を控える自治体が増え予定回数の開催数をこなすことが困難となりました。

最終的に令和2年度実績は計32回、参加者総数926名となりました。本年度は昨年中止、延期分を含め引き続き、県と連携し「赤牛先生」を事業の柱とし、災害による犠牲者ゼロに向けた取組を一層推進してまいります。

また、(一財)砂防フロンティア整備推進機構における木村基金助成金を活用した、小学生向けの防災教育マニュアルの作成を砂防フロンティア整備推進機構から受託し、全国で砂防教育に取り組んでいる団体等を対象として、その実態を調査、整理し事例集としてまとめ今後の砂防教育支援の推進を図る取り組みを本年度新たに予定しましたので、会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

砂防施設の維持活動や施設点検等についても、会員の皆様の協力により進めておりますが、新型コロナウイルス感染の影響を受け、6月の土砂災害防止月間に伴う危険箇所点検等は、当協会としての参加は中止とさせていただきました。

新型コロナウイルスの感染は、なかなか終息いたしません、このような厳しい環境のもと、皆様のお知恵をお借りしながら、県民の安全・安心の確保に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

令和3年6月7日

特定非営利活動法人 長野県砂防ボランティア協会

理事長 内山 壽長